

# 課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO)

「課外教養プログラム」ですきま時間を有効活用しませんか？

KYOPRO スタッフは、課外教養プログラムを通じて、学内に「ピア・サポート」(学生同士の支え合い)の循環をつくりだすことを目標としています。



近年、学生の学問的関心は多様化し、学部・学科の教育目標に沿った正課授業だけではその欲求を満たすことが難しくなっています。学生センターでは正課授業をカバーし、学生のニーズに応えるべく、1993年から「課外教養プログラム」を提供しています。

## 活動内容

教職員と協働して「課外教養プログラム」を企画し、当日の運営まで担当します。

**👉ここがポイント！**企画よりも、いかに参加学生をサポートできるかがポイントです！



## 活動頻度

キャンパスミーティング (週1回)、全体ミーティング (月1回) を基本とし、そのほか状況に応じてサブミーティング (不定期) を実施しています。スタッフ同士の懇親会もあります。

**👉ここがポイント！**3キャンパス一体となって活動できるのも KYOPRO の魅力の1つです！

## メンバー

約40名 (3キャンパス、11学部から構成) で活動しています。KYOPRO スタッフは常時募集しています。

さらに、留学生を英語でサポートする「KYOPRO 英語サポーター」、フランス文化から法政大学を考える「KYOPRO フランス語サポーター」も日頃の活動から発案されました。

**👉ここがポイント！**編入生やサークルに入りそびれた人、就活を終えた4年生などの加入もあります。KYOPRO は「やりたい！」と思った時がスタートです。

## HP

<http://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/news/kagai/index.html>

## お問い合わせ

学生センター・市ヶ谷学生生活課 (03-3264-9481)

希望者は各キャンパスの学生生活課でお申し込みください。

**👉ここがポイント！**3キャンパスに KYOPRO スタッフがいます。

「どんな活動をしているの?」「後から入って少し不安…」

みなさんの疑問・不安を学生スタッフが解消します。



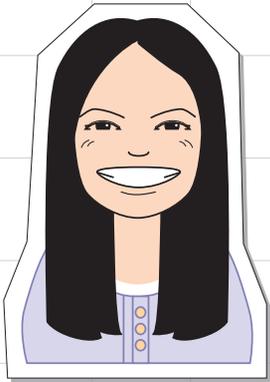
## プログラムができるまで～「坐禅のススメ」の裏側～



- ### 主なプログラム
- 「考える見学」を実践する「大学生の社会科見学」
  - 健康に関する簡易チェックができる「健康みなおし週間」
  - みんなで一体となって応援する「東京六大学野球応援」
  - 即席チームで神楽坂まつりに出場する「チーム阿波踊り」
  - 「学び」を再考する「大学生のための『学び』講座」など



### KYOPRO 卒業スタッフの声



鎌田 紫織

文学部・英文学科卒

2010年度・プロジェクトリーダー

私がKYOPROに入ったのは3年生の5月でした。大学生生活もあと少しだなと感じ、**大学生のうち**にやり遂げたいと思える「何か」をしたいと考えていました。そんな時見つけたのがKYOPRO スタッフ募集のポスター。日ごろ見ていたイベントが「学生のカ」で企画から運営まで行われていることを知り、私もやってみたくてすぐに参加を決めました。

KYOPROに参加したことで、今までの大学生生活はがらりと変わりました。サークルに所属していなかった私にとってはとても新鮮な出来事で、他学部や学年の違うスタッフとの出会いがあったり、イベントの企画や運営をすることで社会勉強もさせていただきました。さらに、プロジェクトリーダーを務めたことで、組織をまとめることの難しさも改めて実感しました。

短い期間ではありましたが、たくさんの人と出会い、たくさんのことを学び、大学生活の中でも一番充実していたのではないかと感じています。今後、社会人として何かKYOPROに還元できることはないかと考えています。KYOPROスタッフが活動を通してたくさんのことを学び、大きく成長してくれることを願っています。

**「大学生活でなにかやりとげたい」「この大学をもっと発展させたい」  
KYOPROにはそんな思いをもった学生が集まっています。**